

Ⅱ 産業間の連携戦略

起業や新事業展開の促進

連携テーマ《起業や新事業展開の促進》の取り組みの概要

① 産業振興計画のこれまでの取り組みによる成果と課題

これまで「土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）」による産業人材の育成や「こうちスタートアップパーク（KSP）」による起業の促進、産学官民連携及び企業間連携による新事業展開の促進を進めてきました。

本県の持続的な経済成長を図るためには、若者にとって魅力のある仕事の創出をはじめ起業支援の取り組みの更なる強化や県内企業等によるイノベーションや新事業創出の取り組みを促進することが必要です。また、これらの実現のためには企業力の向上が必要であり、それを下支えする産業人材の育成が重要となります。

② 第5期計画ver.2の取り組み

産業の創出や若者の雇用拡大につなげることを目的として、産学官民連携による起業や新事業展開の促進に取り組んでいきます。

柱1 起業・新事業展開に向けた総合的なサポート

・起業の促進

起業支援のプラットフォームであるKSPにおいて、起業関心層の拡充に取り組むほか起業の準備段階に応じた各種プログラムの提供により、県内全域での起業を支援します。

特に、都市部の学生や若者を本県に呼び込むため、県ゆかりの起業家との交流イベントを都市部で開催するとともに、県内の起業家と交流する「移住×起業」をテーマとした体験ツアー等を新たに実施するなど、起業支援の取り組みを強化します。

・イノベーションの促進

全国のスタートアップ企業等が持つ独自技術を生かし県内企業等の新事業創出と地域課題の解決を促進するイノベーションのプラットフォームを構築します。

合わせて、事業創出を支援する補助制度を創設するとともに、産学官民連携コーディネーターやイノベーション促進アドバイザーによる、アイデアの磨き上げから事業化までの切れ目ないサポートを行うことで、県内企業の新事業展開を支援します。

さらに、次世代産業創造プロジェクトである「ヘルスケアイノベーションプロジェクト」や「アニメプロジェクト」を推進し、イノベーションの創出を図ります。

・産業人材の育成

ビジネスに関する基礎知識から応用・実践力まで、ニーズに合わせて体系的に身につけられる人材育成プログラム「土佐まるごとビジネスアカデミー」を通じて、産業振興の担い手となる人材を育成します。

特に、県内で働く女性をターゲットとした講座や交流会、中山間地域等で起業した小規模事業者等の事業継続を支えるビジネス基礎講座の実施などを通じて、県政課題である女性活躍推進、中山間地域対策に資する講座を新たに展開します。

《連携テーマ》起業や新事業展開の促進 ～産学官民連携による新たな挑戦が行われる環境づくり～

目指す姿 起業や新事業展開の促進による新たな産業の創出や若者の雇用拡大

分野を代表する目標 県のサポートによる**起業・新事業展開件数** 出発点 (R2～R5) : 149件 ⇒ R7 : 50件 ⇒ 4年後 (R6～R9) : 200件

戦略の柱 1 起業・新事業展開に向けた総合的なサポート

背景

- 1 若者にとって魅力のある仕事の創出につなげるため、都市部からの若者の呼び込みをはじめ、**起業支援の取組の更なる強化が必要**
- 2 県内企業等がスピード感を持って新事業創出やイノベーションに取り組むためには、**新しい技術を持つ全国のスタートアップ企業等の提案を生かす仕組みが必要**
- 3 **起業や県内企業による新事業展開の促進、イノベーションの創出のためには、企業力の向上が必要であり、それを下支えする産業人材の育成が重要**

産学官民が連携して
起業や新事業展開をさらに促進

イノベーションを生み出すプラットフォーム「ココプラ」

1 起業の促進

起業関心層の拡充や、県内全域での起業支援の取組を強化

- 新 (1) 都市部の学生等と高知にゆかりのある起業家等との交流機会を創出
- 新 (2) 県外の若者を対象とした「起業」をテーマとした体験ツアーの実施
- 新 (3) 中山間地域の起業を促進するため補助要件の見直し

(1) 起業関心層の拡充

小中高生

起業気運醸成の取組
・起業を体験できるワークショップ
・県出身・在住起業家による講演会

若者・大学生等

都市部の学生を呼び込む取組
・県ゆかりの起業家と学生等との
ミートアップ (都市部で開催)
・ビジネスコンテスト

(2) 起業支援

起業相談

・起業カウンセラ等
・東京・大阪相談窓口、**新** 地域の相談窓口
新 プログラム
・起業準備段階に応じた講座
・中山間地域の資源を活用した連続講座
・移住×起業セミナー

起業準備者

若者・大学生等
・セミナー
・アクセラレーションプログラム
・伴走型プログラム
・**新** 県外の若者が県内の起業家と交流する体験ツアー

新 地域課題解決起業支援事業費補助金

連携

商工会や金融機関、民間起業支援団体等の各種支援

3 産業人材の育成

● 県政課題である**女性活躍推進、中山間地域等での小さなビジネスの後押し**につなげる講座等を展開することで、**本県の産業振興を担う人材を育成**

- 新 (1) 県内で働く女性をターゲットとした講座に加え、学びをきっかけとした、女性同士の交流やネットワーク構築を目的とした交流会を実施
- 新 (2) 中山間地域等で起業した小規模事業者等の事業継続を支える、ビジネス基礎講座を実施

2 イノベーションの促進

高等教育機関や全国のスタートアップ企業等の提案を生かした新事業創出を促進

- 新 (1) 全国のスタートアップ企業等が持つ新技術を生かし県内企業等の新事業等の新事業創出を促進するイノベーションのプラットフォームを創設
- 新 (2) 新技術を用いた事業創出を目的に県内企業等が取り組む実証実験や製品開発にかかる経費を支援する補助制度を新設
- 新 (3) 高等教育機関と産業界の交流・連携のきっかけづくりのために意見交換会を実施

新 ローカルイノベーションプラットフォーム

機能1 スタートアップ企業等からの提案調整機能

スタートアップ企業等からの提案をオープンに受け付け、各部署へつなぐ総合窓口
紹介
庁内各部署等

総合窓口 (産業イノベーション課)

機能2 新事業創出機能

県が抱える地域課題や実現したいテーマに対してスタートアップ企業等が持つ技術と県内企業のリソースを掛け合わせて新事業創出



産学官民連携



主なターゲット	経営やビジネスに必要な知識を身につけたい方	MC戦略ゲームで学ぶ経営学と会計学	新 組織力向上マインドチェンジ講座	女性のためのビジネス講座	県内で働く、女性特有の仕事上の悩みを抱える女性
講座	新 小規模事業者向け事業継続ワークショップ	仕事力アップゼミ	新 ネット経営層育成プログラム	土佐経営塾	新 働く女性のための異業種交流広場
	ビジネス基礎オンライン講座	新 事業継続ワークショップ	新 土佐経営塾	新 女性のための異業種交流広場	新 働く女性のための異業種交流広場

連携テーマ（起業や新事業展開の促進）で掲げる目標一覧

◆分野全体の目標

産学官民連携による起業・新事業展開件数
 出発点(R2～R5):149件 ⇒ R7:50件 ⇒ 4年後(R6～R9):200件

第5期計画 各産業分野の 取り組みの柱	戦略の種類	第5期計画 戦略目標	出発点	現状値	R7年度 到達目標	4年後(R9) 目標値	重点施策 該当
1 起業・新事業展 開に向けた総合的な サポート	5 人材起点型	こうちスタートアップパーク(KSP)を通じた起業件数(累計)	91件 (R2～R4)	128件 (R2～R5)	45件 (年間)	180件 (R6～R9)	○
	1 構造転換型	県産学官民連携センター(ココブラ)のプラットフォーム機能及び 支援を通じた起業・新事業展開件数(累計)	14件 (R2～R4)	18件 (R2～R5)	9件 (年間)	36件 (R6～R9)	○
	5 人材起点型	土佐MBA(連続講座)の受講を通じた起業・新事業展開件数 (累計)	-	-	3件 (年間)	12件 (R6～R9)	

分野
各産業分野の取り組みの柱

《連携テーマ》起業や新事業展開の促進
起業・新事業展開に向けた総合的なサポート

No.	戦略目標	出発点	直近値	4年後目標 (R9)	これまでの取り組みと成果	課題	取り組み内容 (R6～R9)	主なアウトプット目標 (KPI)
1	<p>こうちスタートアップパーク(KSP)を通じた起業件数</p> <p>【モニタリング方法】 ・起業相談やセミナー・プログラムの利用者について、起業フェーズに応じて、メール・電話により随時確認 ・補助金採択者について、補助事業実績報告により確認</p>	91件 (R2～R4)	128件 (R2～R5)	180件 (R6～R9)	<p>1 起業関心層の拡充</p> <p>① 小中学生向け起業体験プログラムの実施 ・小学1～3年生: 2回 ・小学校4～6年生: 3回 ・中学生: 2回 ・県内小中高校: 10校</p> <p>2 起業支援</p> <p>① 専門家等による起業相談や段階に応じたプログラムの実施 ・KSP会員数: 1,607名 (R7.1末) ・KSPを通じた起業件数: 35件 (R7.1末) ・セミナー等参加者: 延べ320名 (22講座) (R7.1末) ※土佐MBAと一部重複 ② 県内で新たに地域課題の解決につながる起業等を支援する方に対し、必要な経費の一部を補助 ・地域課題解決起業支援事業費補助金採択件数: 12件 (通常枠: 7件、中山間地域枠: 5件)</p>	<p>1 起業関心層の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「起業」への関心は一定高まっているものの、「起業」を将来の選択肢として検討する学生は少数 ・起業家との交流や起業体験等、起業を身近に感じ、起業への理解を深めるための取り組みが必要 <p>2 起業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある仕事をつくり、若者や女性の定着につなげるための更なる起業支援の取り組みが必要 ・都市部の若者に高知で起業することに目を向けてもらい、起業が将来のキャリアの選択肢となるような取り組みが必要 ・地方へ移住して起業することを検討している若者に、高知での起業をイメージし具体的な行動へとつなげてもらうための施策が必要 ・中山間地域活性化や人口減少対策の観点では、地域で暮らしていくための新たな生業づくりが必要で、地域の実情を踏まえた起業支援策が必要 	<p>1 起業関心層の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高校生の起業マインドを醸成する機会の創出【R6～R9】 ・親世代に起業への理解を深めてもらうため、広報番組を作成・周知【R6】 <p>2 県内全域での起業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域での起業を後押しするため、相談体制やプログラム、補助制度等により支援【R6～R9】 ・都市部の学生や若者や若者を本県に呼び込むため、県ゆかりの起業家との交流イベントを都市部で開催【R7～R9】 ・都市部の若者を対象に、県内の起業家と交流する「移住×起業」をテーマとした体験ツアーを実施【R7～R9】 ・中山間地域での起業を促進するため、地域課題解決起業支援事業費補助金の「中山間地域枠」の補助要件の見直し【R7】 <p>⇒ 別図<起01>参照 (P136)</p>	<p>こうちスタートアップパーク(KSP)の会員数(累計)> 1,371人 (R9年度末)</p> <p>2,371人 (R9年度末)</p>
2	<p>県産学官民連携センター(ココプラ)のプラットフォーム機能及び支援を通じた起業・新事業展開件数</p> <p>【モニタリング方法】 ・各高等教育機関のコーディネーターへの調査 (1回/年 2月予定) ・補助事業者からの報告 (1回/年 12月)</p>	14件 (R2～R4)	18件 (R2～R5)	36件 (R6～R9)	<p>1 イノベーションの促進</p> <p>① 産学官民連携センター「ココプラ」を核とした交流機会の創出、企業と高等教育機関や企業同士の交流・連携をさらに促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ココプラサロンを通じた交流機会の創出 ココプラサロン実施回数: 9回 (R6.5～R7.1) ココプラサロン参加者数: 延べ191名 ② 「産学官民連携推進アドバイザー」を新設し、アイデアの掘り起こしからマッチング、さらには事業化まで、一貫した件走支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの稼働 アドバイザー稼働状況: 19回 (R6.4～R7.2) ③ 産学官連携産業の創出を支援 産学官連携産業創出支援事業費補助金: 採択件数2件 ※新規1件、継続1件 <p>2 次世代産業創造プロジェクトの実施による県外企業の県内への新規立地及び県内企業の新事業創出</p> <p>① ヘルスケアイノベーションプロジェクト(別紙参照) ② アニメプロジェクト(別紙参照)</p>	<p>1 産学官民連携によるイノベーション・新事業の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官民連携センター「ココプラ」を核とした交流機会の創出・連携をさらに促進【R6～R9】 ・産業界と高等教育機関の課題等の共有を図り、具体的な産学連携につなげていくための産業界と高等教育機関との意見交換の場を新たに設置【R7～R9】 ・スタートアップ企業等の持つ新技術を活用する等、政策課題の解決や県内企業の新事業・イノベーション創出を促進する新たな仕組みとなるプラットフォームを構築【R7～R9】 ・イノベーション促進アドバイザー(旧産学官民連携推進アドバイザー)による、アイデアの掘り起こしからマッチング、さらには事業化まで、一貫したサポートを実施【R6～R9】 ・イノベーション・新事業創出のため、実証・製品化フェーズを補助金により支援【R7～R9】 <p>⇒ 別図<起02>参照 (P137)</p> <p>2 次世代産業創造プロジェクトの実施による県外企業の県内への新規立地及び県内企業の新事業創出</p> <p>① ヘルスケアイノベーションプロジェクト(別紙参照) ② アニメプロジェクト(別紙参照)</p>	<p>ローカリティイノベーションプラットフォームプロジェクト立ち上げ件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 (R2～R5) 8件 (R7～R9) <p>新製品の開発件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 (R2～R5) 3件 (R7～R9) 	

分野	
各産業分野の取り組みの柱	
《連携テーマ》起業や新事業展開の促進	
起業・新事業展開に向けた総合的なサポート	

No.	戦略目標	出発点	直近値	4年後 目標 (R9)	これまでの取り組みと成果	課題	取り組み内容 (R6～R9)	主なアウトプット 目標(KPI)
3	土佐MBA(連続講座)の受講を通じた起業・新事業展開件数 【モニタリング方法】 ・受講者に対し、年度末にメールにより確認	-	-	12件 (R6～R9)	産業人材の育成 ①経営を体系的につなげる連続講座を実施 ・連続講座数:4講座(R6.6～R7.1) ・受講者数:47名 ②女性の活躍をサポートする「女性のためのビジネス講座」を実施 ・講座数:2講座(R6.5、R6.10) ・受講者数:36名 ③アイデアを創発し、具体的なビジネスプランに落とし込む手法等を学ぶ「イノベーションコース」を開設 ・講座数:10講座(R6.5～R7.1) ・受講者数:延べ197名 ※ココブラサロン及びイノベーション創出講座 ④起業希望者がアイデアの磨き上げ方法や事業計画の策定等について学べる「スタートアップコース」を開設 ・講座数:22講座(R6.6～R7.1) ・受講者数:延べ320名 ※KSPと一部重複	1 産学官民連携による産業人材育成プログラム「土佐まことビジネスアカデミー(土佐MBA)」の実施 ・組織におけるキャリア形成の難しさや、ロールモデルの不在といった働く女性特有の悩みの解消につながる取り組みが必要 ・中山間地域等において起業後の事業継続のために必要となる学びを提供する場が必要	1 産学官民連携による産業人材育成プログラム「土佐まことビジネスアカデミー(土佐MBA)」の実施 ・経営を体系的につなげる連続講座を実施【R6～R9】 ・県内で働く女性をターゲットとした講座に加え、学びをきっかけとした、女性同士の交流やネットワーク構築を目的とした交流会を実施【R7～R9】 ・中山間地域等で起業した小規模事業者等の事業継続を支えるビジネス基礎講座を実施【R7～R9】	<土佐MBAの会員数(累計)> 1,340人 (R5年度末) ↓ 2,140人 (R9年度末)

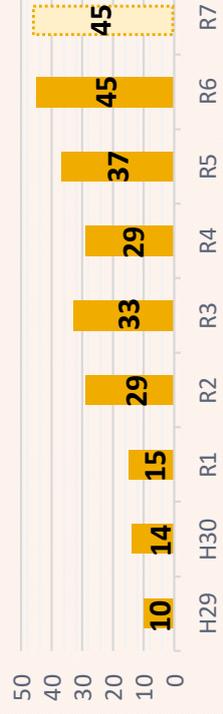
目的

起業にチャレンジする気運を醸成するとともに、起業相談や準備段階に応じたプログラム等を実施することで、起業の促進を図る。

現状・課題

- (1) 令和6年度に、講座を充実(R5:22講座) → R6:24講座)させており、講座参加者数は増加
- (2) 参加者へのアフターフォロー等により、令和6年度の目標を達成

＜こうちスタートアップパークを通じた起業件数＞



＜R6年度実績＞

- ① 起業相談件数：延べ221人
- ② 講座参加者数：延べ366人
- ③ 起業件数：45件 ※ 目標45件に対して計画どおり達成

＜課題＞

- ① 魅力のある仕事をつくり、若者や女性の定着につなげるため、さらなる起業支援の取組が必要
- ② 中山間地域でのさらなる起業の促進が必要

第5期計画（令和9年度）の目指す姿

目標

- ◆ こうちスタートアップパークを通じた起業件数 R7：45件 ⇒ 累計（R6～R9）：180件

(1) 魅力ある仕事をつくり、若者や女性の定着につなげるため、都市部の若者の呼び込みを行う

(2) 中山間地域でのさらなる起業の促進に向けて補助制度の拡充を行う



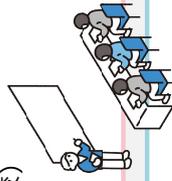
令和7年度 起業促進に向けた取り組み

起業関心層の拡充

小中高校生

(1) 起業気運の醸成

- ① 起業を体験できるワークショップの実施 (小学4～6年生:3回、中学生:2回)
- ② 県出身・在住起業家の学校への派遣 (小中高等学校:全10校)



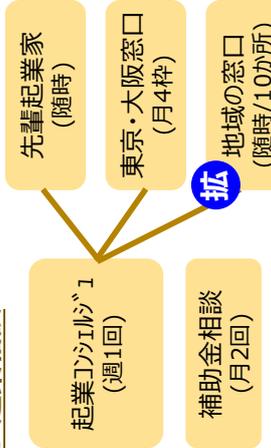
大学生・若者等

- (1) 大学生の呼び込み
 - ① 学生ミートアップ(年1回)
 - ② ビジネスコンテスト(年1回)
- (2) 若者等の呼び込み
 - ① 「移住×起業」セミナー(年3回)

連携

民間起業支援団体、UIターンサポートセンター

I 起業相談



大学生・若者等

- (1) 大学生向け支援
 - ① セミナー ② 伴走型プログラム(随時)
 - ③ アクセラレーションプログラム(随時)
- (2) 若者向け支援
 - ① 「移住×起業」体験ツアー(年1回)

新

連携

民間起業支援団体、UIターンサポートセンター、金融機関、商工会議所、商工会

起業支援

II プログラム

起業希望者に対し、準備段階に応じた講座等を実施



III 補助金

起業に必要な経費を補助

地域課題解決 起業支援 事業費補助金

- ① 通常枠
- ② 中山間地域枠

拡

連携

- (1) 金融機関
- (2) 商工会議所
- (3) 商工会
- (4) よろず支援拠点
- (5) 民間起業支援団体等

目的 産学官民連携による、県内企業等のイノベーション・新事業創出や地域課題の解決を促進する。

現状・課題

《現状》

(1)これまでの取組により、産学官民の交流及び連携のきっかけづくりは一定進んでいるが、そこから具体的な連携や事業化につながる案件は限定的

《課題》

- (1)県内企業の新事業創出や地域の課題解決のためには、全国のスタートアップ企業等の持つ新たな技術等の活用が必要
- (2)産学官民連携による新事業創出を促進するためには、県内産業界と高等教育機関の交流のさらなる強化が必要

5期計画（令和9年度）の目指す姿

目標 ◆ココプラのプラットフォーム機能及び支援を通じた起業・新事業展開件数

R7：9件 ⇒ 4年後（R6～R9）：36件

- (1)スタートアップ企業等の新技術や高等教育機関のシーズを活用した県内企業の新事業創出
- (2)県外スタートアップ企業等の県内への拠点設置
- (3)地域課題の解決

令和7年度の取り組み

新 ローカルイノベーションプラットフォーム

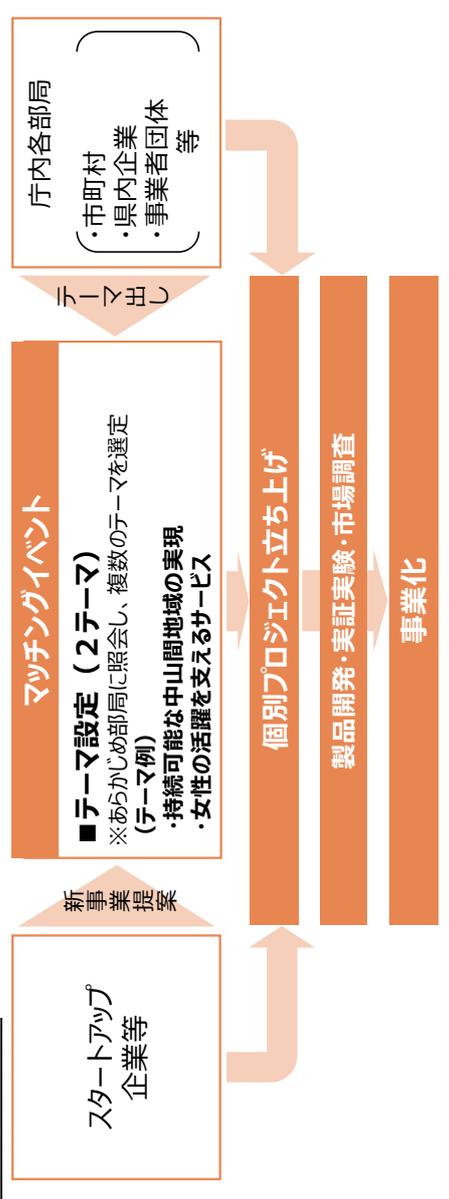
機能1 スタートアップ企業等からの提案調整機能

各部署等の課題に対してスタートアップ企業等からの提案を受け付け、各部署へつなぐ総合窓口



機能2 新事業創出機能

県が抱える地域課題や実現したいテーマに対してスタートアップ企業等が持つ技術と県内企業のリソースを掛け合わせて新事業を創出



産学官民連携

ビジネスアイデア創出・マッチング

コゴプラサロン

新 コーディネーターと産業界との意見交換

サポート

産学官民連携コーディネーター

・企業に対する高等教育機関の研究者等の紹介
・共同研究等のコーディネート

産学官連携産業創出支援事業費補助金

活用

支援

新 新事業創出支援事業費補助金

・実証実験等にかかる費用を補助
・製品開発にかかる費用を補助

拡 イノベーション促進アドバイザー

・スタートアップ企業等と県内企業とのつなぎ
・事業化に向けたアドバイス

活用

支援

次世代産業創造プロジェクト

拡 ヘルスケアイノベーションプロジェクト

拡 アニメプロジェクト

